

平成23年度事業報告書

(公益事業)

公1事業、写真に関する創作活動の奨励、人材の育成、教育に係わる事業

(1) 小学生を対象とした「写真学習プログラム」を全国の小学校55校で平成23年4月～平成24年3月にかけて実施した。指導者32名、参加児童数1,671名。(7年間の合計380校15,239名)。富士フィルム㈱の協力で行った。

① 2010年の「写真学習プログラム」で児童が撮影した写真展を開催した。

開催名	場所	日時	参加数
「Kids Photo Festa -小学生のワクワク・ドキドキ写真展」共催・富士フィルム㈱、後援・朝日新聞社 (2010年度実施50校1,571名の作品から四つ切ワイドプリント645点を展示)	富士フィルムフォトサロン東京/スペース1、2	4月29日(金) ～5月5日(木)	8,620名
「Kids Photo Festa同時開催 Family Photo 撮影会講師・会員18名	富士フィルムスクエア2階特設会場	4月29日(金) ～5月1日(日)	191家族 717名

② 「エコトークフォトコンテスト」を東日本大震災被災地の宮城県(女川、石巻)と都近郊の7カ所の小学校で実施した。参加児童289名の作品を選考し、8月に長野県のNPO法人が実施している山の家で親子の体験実習を行った。クラレトレーディング㈱の協賛。

(2) 第5回高校写真部顧問を対象とした「デジタル写真講座」を、全国高等学校文化連盟写真専門部との共催で、6月広島と8月富山の2カ所で実施した。㈱ニコンイメージングジャパンとエプソン販売㈱の協力で行った。

日時	場所	講師	受講者
6月12日(日)	宮島コーラルホテル・1F多目的ホール	松本徳彦、足立寛、沖田寛、森本勝義	教師20名
8月20日(土)	富山県立南砺福野高等学校	熊切圭介、足立寛、田中祥介、安全余志子、大志摩洋一	教師22名

(3) 技術研究会を行った。

開催名	場所	日時	参加数
第1回「まるっと理解するカラマネ」 講師：鹿野宏(㈱Lab) 協力：マイクロソジャパン㈱(㈱レキサーメディア事業部、㈱ソフトウェア・トーカー、㈱ナオ、エックスライト㈱、三菱電機㈱、NECディスプレイソリューションズ㈱、㈱セコニック、エプソン販売㈱)	JCIIビル6F会議室	6月23日(木)	81名
第2回(関西)「一冊からできる写真集」 講師：大野秀生、小林敬太郎、鈴木康友(㈱アスカネットCMSコンサルタント)	大阪・愛日会館2Fイベントホール	7月9日(土)	41名
第3回(関西)「まるっと理解するカラマネ～関西編」 講師：鹿野宏(㈱Lab)	大阪・愛日会館2Fイベントホール	1月27日(金)	75名
第4回「ニコンD4新製品体験会」 講師：㈱ニコンイメージングジャパン	JCIIビル6F会議室	2月22日(水)	76名
第5回(関西)「シルキーピックス使いこなし術～実践編」 講師：横山崇(㈱市川ソフトラボラトリー)	大阪・愛日会館2Fイベントホール	2月25日(土)	38名
第6回「アドビ・ライトルームの使い方講座」 講師：秦達夫会員、アドビシステムズ㈱	JCIIビル6F会議室	3月28日(水)	85名

(4) 東日本大震災後、その存続の賛否が問われている原発について9月17日(土)映画上映とワークショップをJCIIビル6階会議室で開催した。本橋成一監督作品「アレクセイと泉」上映とワークショップ、講師：本橋成一、参加者51名。

(5) 専修大学のジャーナリズム講座で「報道写真論」の講義を始める。第1回講師に桑原史成会員を派遣した。

公2事業、写真の表現に関する展示、講演、保存に係わる事業

(1) 「第36回2011JPS展」を東京、名古屋、京都、広島で開催した。後援：文化庁

公募作品受付：1月6日(木)～19日(水)

作品審査：2月5日(土)

審査員：田沼武能(審査員長)、藤森邦晃(『フォトン』編集長)、秋田好恵、桑原史成、鈴木一雄

応募総数：2,447名7,475枚(一般部門：2,317名7,206枚、20歳以下部門：130名269枚)

入賞・入選者総数：303名514枚[一般部門：293名496枚(文部科学大臣賞1名、金賞1名、銀賞2名、銅賞3名、

奨励賞5名、優秀賞32名、入選248名)、20歳以下部門：10名18枚(最優秀賞1名、優秀賞4名、入選5名)]

会員テーマ：「プロフェッショナルの世界」パート2 会員出展数：50名(5枚組写真)250枚

イベントコーナー：「ヤングアイ」参加校 18校

総展示数：781枚(公募：302名513枚、会員：50名250枚、ヤングアイ：18校18枚)、後援：文化庁ほか

総入場者数：9,931名。2011JPS展副賞提供社：51社。

入場料(各展共通)：一般700円(団体割引560円)、学生400円(団体割引320円)、高校生以下無料、65歳

以上400円(東京、広島展)65歳以上無料(名古屋、関西展)※団体は20名以上。

開催名	会場	日時	参加数
◆東京展 (後援：文化庁、共催：東京都写真美術館) 表彰式 講演会「人を撮る、時代を撮る～昭和の肖像～」 講師：齋藤康一・木村恵一 受賞パーティー イベント：撮影会「ぶらり、恵比寿」 講師：榎並悦子、清水哲朗 協力：キヤノンマーケティングジャパン(株)、レキサーメディア マイクロン ジャパン(株) レクチャー「写真をえらんで、気軽にフォトブック」 講師：吉住志穂 協力：(株)アスカネット セミナー「ゆる鉄、中井精也・鉄道写真の世界」 講師：中井精也 フロアレクチャー：5日計10回	東京都写真美術館 B1展示室	5月21日(土) ～6月5日(日)	4,745名
	東京都写真美術館ホール	5月21日(土)1時	190名
	〃	〃 3時	190名
	ヒアステーション恵比寿	〃 5時	162名
	恵比寿ホールデンプレス、アトリエ	5月22日(日)	20名
	東京都写真美術館アトリエ	5月28日(土)	9名
◆名古屋展(後援：文化庁、愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会) 表彰式・講評：松本徳彦 講演会「旅と写真のゆかいな関係」講師：椎名誠	愛知県美術館展示ギャラリーH・I	7月5日(火) ～10日(日)	2,110名
	愛知県芸術文化センター12階A室	7月9日(土)	253名
	京都市美術館別館	8月9日(火) ～8月14日(日)	1,603名
◆関西展(後援：文化庁、京都府、京都府教育委員会、京都市、京都市教育委員会) 表彰式・講評：田沼武能 講演会：「細江英公・球体写真二元論」講師：細江英公 イベント：小学生向けワークショップ「撮るって楽しい!～夏休みカメラ体験」子どものためのデジタル一眼レフカメラ講習 協力：キヤノンマーケティングジャパン(株)、マイクロンジャパン(株)レキサーメディア事業部	京都市国際交流会館イベントホール	8月13日(土)	176名
	〃	〃	16組
	京都市美術館別館、岡崎公園内	8月9日(火)	
◆広島展(後援：文化庁、広島県、広島市、広島市教育委員会) 表彰式：講評：熊切圭介 講演会：「一寸先は闇の報道写真」講師：宮嶋茂樹	広島県立美術館B1F県民ギャラリー	8月30日(火) ～9月4日(日)	1,473名
	広島県立美術館地下1階講堂	9月4日(日)	203名

(2) 「2011年新入会員展－私の仕事」を開催した。

会期	場所	入場数	備考
7月14日(木)～20日(水)	アイデムフォトギャラリー「シリウス」	595名	展示29名87点
7月14日(木) 18:00～19:30	〃 オープニングパーティー		参加者121名
7月29日(金)～8月4日(木)	富士フィルムフォトサロン大阪	2,696名	

(3) 第5回フォトフォーラム「人間を、撮る」を10月1日(土)、有楽町・朝日ホールで開催した。(共催・朝日新聞出版、後援・文化庁)。11:00～協賛8社による最新機材技術展：13:00～講演・パネルディスカッション。パネリスト：榎並悦子、土田ヒロミ、ハービー・山口、田沼武能、司会・早坂元興(『アサヒカメラ』編集長) 協賛：エプソン販売(株)、オリンパスイメージング(株)、キヤノンマーケティングジャパン(株)、(株)シグマ、(株)タムロン、(株)ニコンイメージングジャパン、富士フィルム(株)、(株)リコー。参加者503名。

(4) 文化庁委嘱事業「文化関係資料アーカイブ構想の構築に関する調査研究」

写真原板の保管状況の調査、収集整理、データベース作業。原板のデジタル化、権利処理、利活用に関する調査、全国各地の美術館、博物館、資料館等とのネットによるデータベースの共有化等の調査を行った。

①今までに調査してきた物故写真家の作品50数名600点余の作品をデータベース化した。撮影者名、作品名、撮影年月日、撮影場所、対象の内容、権利条件など個々の作品に関する情報を入力し、「写真原板」のデータベースを構築(委託凸版印刷)、Web上での画像検索の実証実験を行った。

②写真フィルムを長期にわたって保存するための低温低湿の収蔵庫として、相模原のフィルムセンターの収蔵庫(約500㎡、温度10℃、相対湿度40%)を文化庁から借り受けることが内定した。平成24年度以降使用できるよう準備が進められている。

(5) 60周年記念写真展「おんな一立ち止まらない女性たち」新潟、静岡で開催した。総展示数：145人211点。

会期	場所	入場者数	関連イベント
11月3日(木)～ 12月25日(日)	新潟市新津美術館	5,326名	講演会：11月20日「社会を捉える写真家の眼」 講師・田沼武能。12月4日「フィルムの歴史～ フィルムからデジタルへ」講師・坂口綱男
3月10日(土)～ 25日(日)	静岡県コンベンション アーツセンター・グランシップ	2,670名	ギャラリートーク：3月10日 解説・島田聡 3月17日 解説・松本徳彦

(6) 3.11東日本大震災復興支援事業を実施した。

①2011年3月11日に発生した東日本大地震と大津波による被災者支援のためJPS会員の作品による「東日本大震災被災者支援 チャリティー写真展」を4月29日(金)～5月5日(木)、富士フィルムフォトサロンで開催した。参加写真は、特別出品3名：木村伊兵衛、土門拳、濱谷浩 会員256名、出品数は750点。価格1～5万円(特別出展は10万円) 総入場者数8,620名。販売金額5,885,503円。販売した写真394点の売上金と義援金を含む4,220,043円を、5月19日、朝日新聞厚生文化事業団を通して被災地に寄付した。協力：富士フィルム(株)、(株)フレームマン、(株)写真弘社。

②写真展「生きる—東日本大震災から一年—」を東京、宮城で開催した。

写真は、被災地に在住する日本写真家協会会員を中心に、各写真家に参加を呼びかけ、現地で撮影された作品を展示。被災直後から逞しく生きる人々、被災者を勇気づける支援者など日本人の絆、連帯する人々を捉えた写真を、「被災」「ふるさと」「生きる」の3部構成に編纂することで、「写真の力」の素晴らしさを伝える。この企画に賛同して写真や資料を提供くださった会員および写真家は161人。総展示数：73名91点。総入場者数：8,477名。特別協賛：(株)タムロン、協賛：富士フィルムイメージングシステムズ(株)、協力：(株)フレームマン。

会期	場所	入場数	備考
3月2日(金)～15日(木)	新宿・富士フォトギャラリー新宿	6,508名	
3月27日(火)～4月8日(日)	仙台・仙台市博物館ギャラリー	1,969名	

また同名の写真集を、日本写真家協会編、新潮社刊で2月25日発行した。定価2,940(税込)、B5判、モノクロ・カラー192頁、73名131点の作品。

なお、写真集『生きる』については復興支援活動として、被災地の青森、岩手、宮城、福島、茨城、千葉の公立図書館と各県、国公立大学図書館と、全国の都道府県立図書館461館に献本し、多くの方にお読みいただき、復興への息吹を体得していただくと共に、貴重な記録として長く保存していただいた。協賛：株式会社ジーシービー、協力：公益社団法人日本フィランソロピー協会。

(7) カメラと写真映像の情報発信イベント「CP+2012(シーピープラス)」(一般社団法人カメラ映像機器工業会(CIPA)主催)でJPS会員による写真展「プロフェッショナル52人の仕事」を2月9日(木)～12日(日)、みなとみらいギャラリーで開催した。入場者6,744名。

また、期間中にJ P S講演会「お困りですかスナップ写真と肖像権」を2月11日(土)、パシフィコ横浜アネックスホールF203で行った。講師：松本徳彦(J P S専務理事)、参加者219名。

公3事業、写真に関する著作権の普及、啓発に係わる事業

(1) 著作権に関する研究会、セミナーを開催した。

開催名	会場	日時	参加数
第1回(名古屋)「閲覧端末」の登場と写真著作権 講師：北村行夫弁護士	名古屋・CHU0ホール栄会議室	10月29日(土)	33名
第2回『ソーシャルメディア』と写真著作権—急激なネットワーク社会の広がりにもみる写真著作権— 講師：石新智規弁護士、勝又ひろし(朝日新聞出版デジタルライツ部長)	JCIIビル6F会議室	11月10日(木)	56名
page2012オープンイベント/JPSセミナー「最新・デジタル時代の写真著作権」講師：川瀬真(横浜国立大学大学院教授)	池袋サッパインシティ文化会館7F	2月8日(水)	97名

①「デジタルデータ使用後の消去方法についてのルール作り」に関する研究をした。

②「デジタルコンテンツビジネスにおける契約」に関する研究をした。

(2) 著作権よろず相談室 毎月第3水曜日開催。相談数18件。

公4事業、写真に関する図書の編集発行、電子出版・情報に係わる事業

(1) 『日本写真家協会会報』を年3回(No.147~149)発行した。

(2) 『新版・写真著作権』の編集をした。

(3) 電子出版、インターネット、ホームページを利用したサービス業務を行った。

公5事業、写真に関する優れた技術開発、表現活動に対する顕彰事業

(1) 第37回「日本写真家協会賞」贈呈式を、12月7日(水)、アルカディア市ヶ谷で行った。

第37回「日本写真家協会賞」を、「相模原市総合写真祭フォトシティさがみはら実行委員会」に贈呈した。贈呈式は12月7日(水)にアルカディア市ヶ谷で行った。贈呈理由は「相模原市は2001年に写真文化の振興、発展を図るため『相模原市総合写真祭フォトシティさがみはら』を創設し、この10年間に優れたプロ写真家と期待される新人写真家や多くの写真愛好家、さらにアジア地域の写真家の表彰とその活動はわが国の写真文化の発展に貢献し、国内外で高く評価されていることに対して」。

(2) 新進写真家の発掘と育成を図るために、第7回「名取洋之助写真賞」の公募を行った。

①公募：30歳までの新進写真家を対象に、公募期間7月1日(金)~8月19日(金)、8月29日(月)、鎌田慧、大島洋、田沼武能の3氏によって選考を行い、名取賞に林典子「硫酸に焼かれた人生〜ナイラとセイダの物語」(カラー30枚)を、奨励賞に山野雄樹「工場の少女達」(カラー30枚)を選び、授賞式を12月7日(水)、アルカディア市ヶ谷で行った。

②第7回「名取洋之助写真賞受賞作品展」を催した。

会期	場所	入場数
1月27日(金)~2月2日(木)	東京・富士フィルムフォトサロン東京	7,624名
3月7日(水)~11日(日)	福島・福島市民ギャラリー	114名
3月16日(金)~22日(木)	大阪・富士フィルムフォトサロン大阪	2,953名

(3) 「第36回2011JPS展」入賞・入選者303名を5月21日(土)、東京都写真美術館ホールで表彰した。

公6事業、写真に関する国際交流事業

(1) 国際交流セミナー、研究会の開催

開催名	場所	日時	参加数
第1回「野町和嘉氏に訊く 海外ドキュメンタリーの実践」講師：野町和嘉、聞き手：竹田武史	JCIIビル6F会議室	10月27日(木)	60名

第2回「外国人フォトジャーナリストが見た東日本大震災」講師：アンドロニキ・クリストドゥル（ギリシャ）、権徹（韓国）、トレイシー・テイラー&ディー・グリーン（オーストラリア）	JCIIビル6F会議室	11月30日（水）	66名
第3回「海外フォトフェスティバル研究（1）」講師：杉山武毅（神戸TANTO TEMPOディレクター）	千代田区立日比谷図書文化館小ホール	3月24日（土）	68名

（2）来日した海外写真家との交流については、「アジアの写真家たち2011」Indonesia Nowadays”で来日中の5人のインドネシア写真家が、6月2日JPS事務所を訪れ交流をした。協力：PSJ・東京写真月間。

（収益事業）

収1事業、書籍、部品の販売事業

- （1）『2011JPS展作品集』を製作し、5月21日に発行した。
- （2）ネガカバー、ファイルなど写真整理用品の製作及び販売をした。
- （3）海外プレスカードの発行をした。

（その他の事業 共益事業）

他1事業、ニュース、名簿の製作発行事業をした。

- （1）『JPSニュース』の発行。年11回（No. 485～495、総会資料）
- （2）『会員名簿2012～2013』を1月31日に発行した。（会員証製作費含む）

他2事業、祝賀会の事業

- （1）会員相互祝賀会を12月7日（水）、アルカディア市ヶ谷で行った。参加者321名。

他3事業、保険の事業

- （1）「2011年JPS団体所得補償保険」に団体加入した。